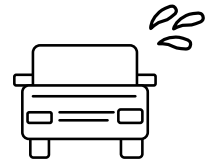


Augmented Realityを用いた認知・判断・操作の段階的な練習支援システム

近畿大学工学部マルチメディアシステム研究室



1 従来、車の運転といったスキル学習は、基本の動作を教えて、あとは慣れてもらうのが主（認知・判断・操作をまとめて練習）



そうすると、



運転できているから問題ない
→しかし運転は丁寧ではない



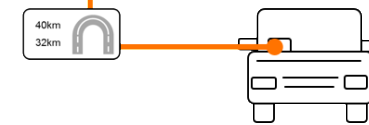
自分には運転のセンスがない
→運転のやり方がわからない
などが起こる

→技術が発達しても、本当にこのまま？

2



システムが運転の認知・判断・操作を理解



認知・判断・操作を個別に学習

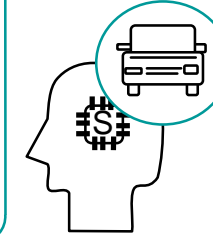
4

→技術によって分けられる

それぞれのタイミングでシステムが運転結果を質問
→回答に応じてどう直したらいいかシステムが指摘

1

3



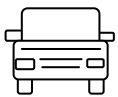
ARで情報提示



- ① 判断結果を見せて操作だけ練習
- ② 認知結果を見せて判断を練習
- ③ これまでの練習を踏まえて練習（難しいなら戻る）

HUMAN

AUTO



車の運転という楽しみを残しつつ、安全な運転を（一つのダイバーシティ）

できないから自動化ではなく、
新たな学びで人手と自動化を共存

